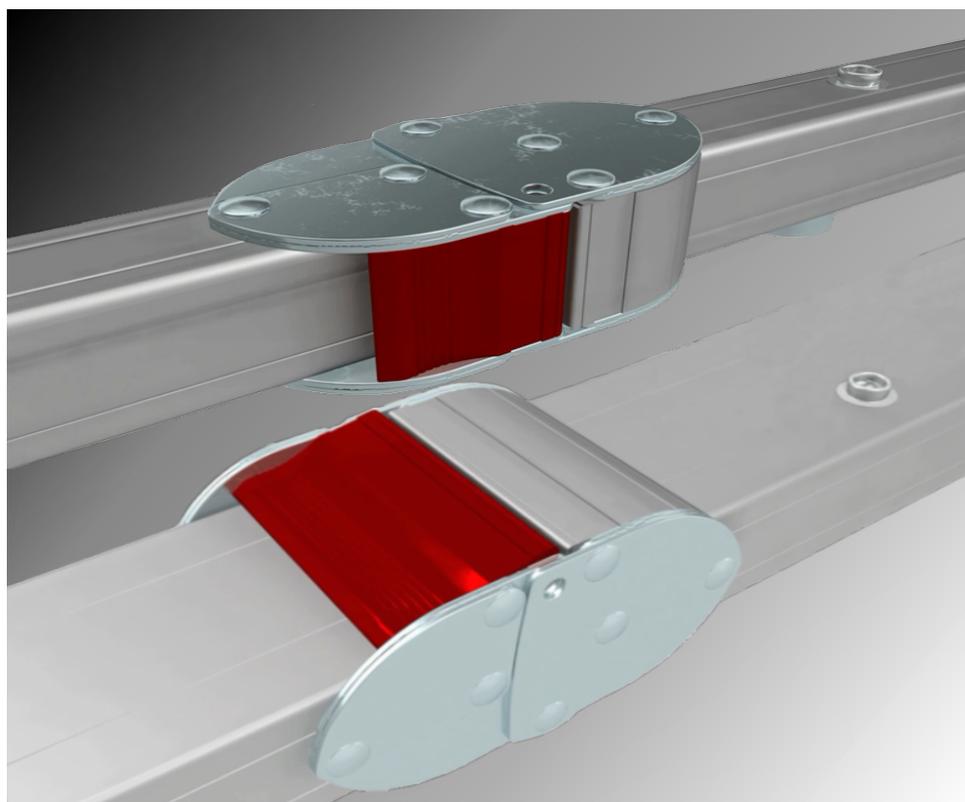


KIKUCHI MOBILE PROJECTION SCREEN

AV Stumpfl
MONOBLOX32
MONOBLOX64

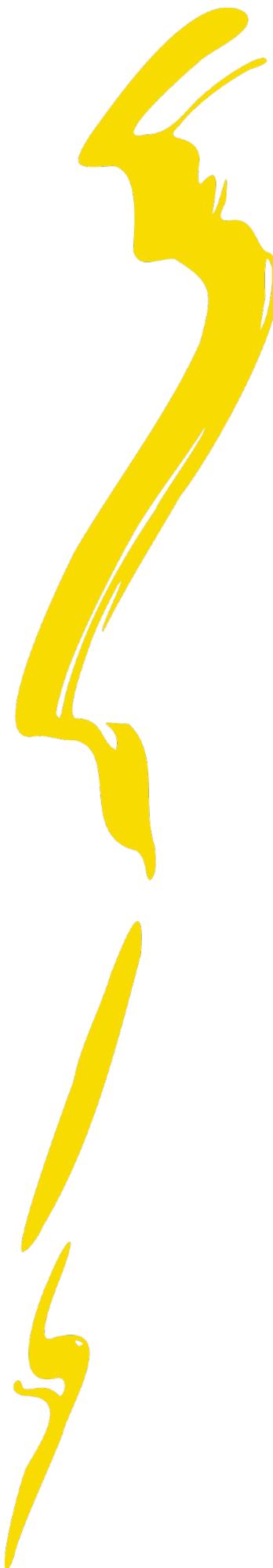


簡易組立型モバイルスクリーン
(MBF/MBR/MBLF/MBLR)
取り扱い及び設置説明書



この度は、AV Stumpfl 社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品を正しくお使いいただくため、本書をよくお読みください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

目次・・・・・・・・・・1
安全上のご注意・・・・・・・・2
スクリーン寸法図
スクリーン規格一覧・・・・・・・・3
(MONOBLOX32)
スクリーン組み立て方法・・・・4~5
(MONOBLOX32)
スクリーン寸法図
スクリーン規格一覧・・・・・・・・6
(MONOBLOX64)
スクリーン組み立て方法・・・・7~8
(MONOBLOX64)
スクリーンの片付け方法・・・・9
使用上のご注意・・・・・・・・10



安全上のご注意

必ずお守り下さい

お使いになる方やほかの人への危害と財産への損害を未然に防止し、正しく安全にお使いいただくために重要な内容を次のように説明しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり記載事項をお守りください。記載事項を守らないことにより生じた損害、天災等による損害について当社は一切責任を負いません。

■ 表示内容を守らずに誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の区分で説明しています。

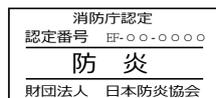
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守り頂く内容を次の区分で説明しています。

	してはいけない「禁止」を示します。
	「必ず実施していただくこと」を示します。

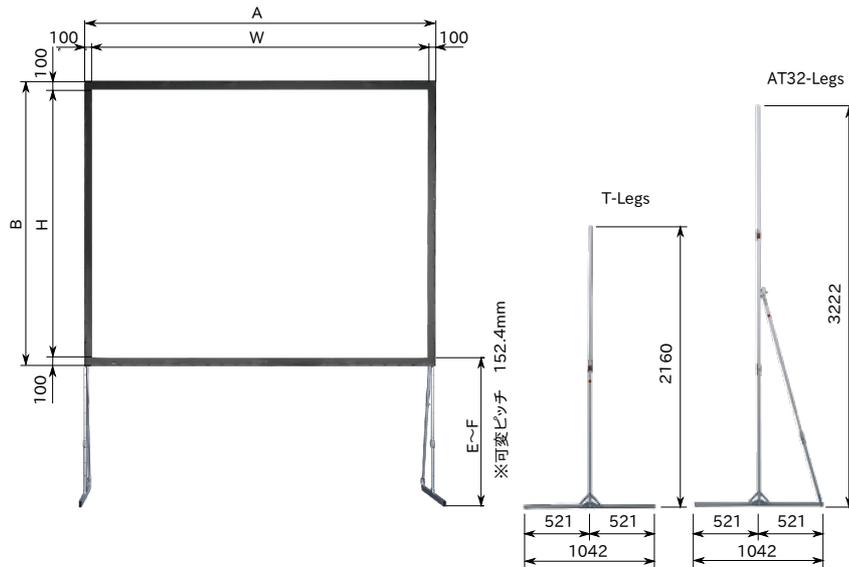
 注意	<ul style="list-style-type: none">● 組み立ては、スクリーンの大きさ・重量に応じて必要な人数で行ってください。● スタンドを設置する場合は、平らな場所を選んでください。スタンドが傾いていると転倒する恐れがあります。● 人が通らない場所を選んで設置し、お子様などが誤って触れないよう充分注意してください。
 禁止	<ul style="list-style-type: none">● スクリーンは、屋内での使用を想定して設計しております。屋外などの風の影響を受ける場所では、スクリーン全体的に大きな力が加わり転倒する恐れがありますので、必ず屋内で使用してください。● 屋内の使用であっても、出入り口や搬入口が開いている場合は風が吹き込んでスクリーンが転倒する危険性がありますので注意して下さい。
 警告	<ul style="list-style-type: none">● スクリーン及びスタンドはケース収納後、縦置きにしたり壁などに立てかけたりして放置しないようにしてください。転倒する危険性があります。

防災ラベル



消防法により不特定多数の人が出入りする公共施設に設置されるスクリーンは、防災性能試験に合格したスクリーンを使用することが義務付けられています。防災ラベルは防災性能試験に合格したことを証明するもので、スクリーン生地裏側に防災ラベルが貼られていることを確認して下さい。

スクリーン寸法図 (MONOBLOX32)



スクリーン規格一覧

NTSCサイズ(4:3)

型番		イメージサイズ (W) × (H)	外形寸法 (A) × (B)	付属 スタンド	スクリーン高さ		重量			
フロント	リア				Min (E)	Max (F)	スクリーン		フレーム	付属 スタンド
						フロント	リア			
MBF-90	MBR-90	1830 × 1370	2040 × 1580	T-Legs	160	1074	1.6	1.9	5.9	4.6
MBF-100	MBR-100	2000 × 1500	2200 × 1700	T-Legs	160	1074	1.8	2.0	6.1	4.6
MBF-120	MBR-120	2440 × 1830	2640 × 2030	T-Legs	160	1074	2.2	2.7	7.4	4.6
MBF-150	MBR-150	3050 × 2290	3250 × 2490	AT32-Legs	160	1989*	3.0	3.8	9.6	9.9
MBF-180	MBR-180	3660 × 2740	3860 × 2940	AT32-Legs	160	1684*	4.8	5.2	11.3	9.9
MBF-210	MBR-210	4270 × 3200	4470 × 3400	AT32-Legs	160	1532*	5.2	6.9	12.5	9.9
MBF-240	MBR-240	4880 × 3660	5080 × 3860	AT32-Legs	160	1379*	6.5	8.6	14.1	9.9

HDサイズ(16:9)

型番		イメージサイズ (W) × (H)	外形寸法 (A) × (B)	付属 スタンド	スクリーン高さ		重量			
フロント	リア				Min (E)	Max (F)	スクリーン		フレーム	付属 スタンド
						フロント	リア			
MBF-100HD	MBR-100HD	2180 × 1230	2380 × 1430	T-Legs	160	1074	1.5	1.7	6.5	4.6
MBF-120HD	MBR-120HD	2660 × 1500	2860 × 1700	T-Legs	160	1074	2.0	3.0	7.2	4.6
MBF-147HD	MBR-147HD	3250 × 1830	3450 × 2030	T-Legs	160	1074	2.7	3.4	8.2	4.6
MBF-165HD	MBR-165HD	3660 × 2060	3860 × 2260	AT32-Legs	160	1989*	3.2	4.4	9.0	9.9
MBF-183HD	MBR-183HD	4050 × 2290	4250 × 2490	AT32-Legs	160	1989*	3.7	4.9	11.4	9.9
MBF-193HD	MBR-193HD	4270 × 2400	4470 × 2600	AT32-Legs	160	1684*	4.4	6.0	11.9	9.9
MBF-220HD	MBR-220HD	4880 × 2740	5080 × 2940	AT32-Legs	160	1684*	5.0	6.6	12.9	9.9



注意

*表記最高位置でスクリーンを設置する場合は安全のため、重りを置くなどして転倒防止の措置をとってください。

付属品



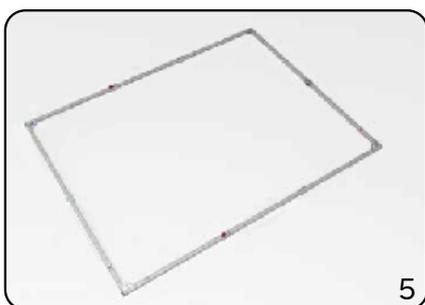
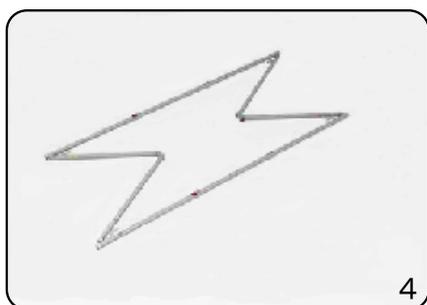
M8×50mm
蝶ボルト

T-Legs使用時
5本(予備1本含む)

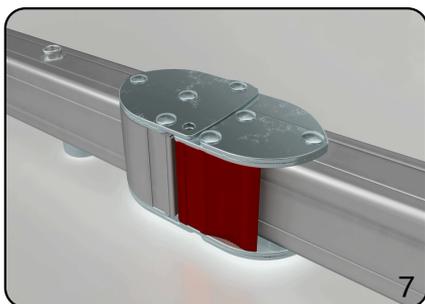
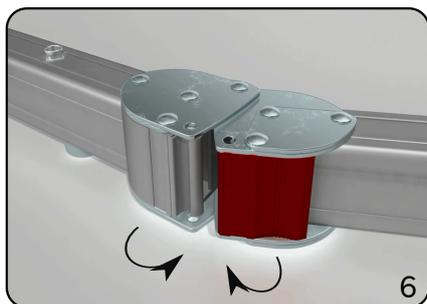
AT32-Legs使用時
9本(予備1本含む)

スクリーン組み立て方法 (MONOBLOX32)

(1)スクリーンフレームの組み立て

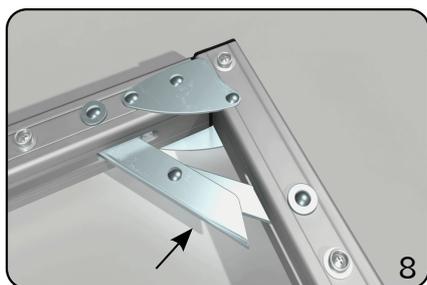


- 1～5の順にフレームを組み立てます。



- 関節部は6～7のようにフレームをまっすぐになると自動的にロックします。

●  ロックが掛からない場合は「カッチ」と音がするまでロックボタンを押し込んでください。



- 4箇所のコナー金具を8の矢印方向に押します。

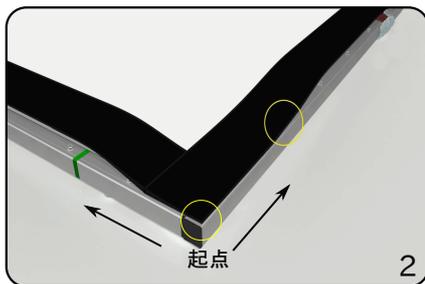
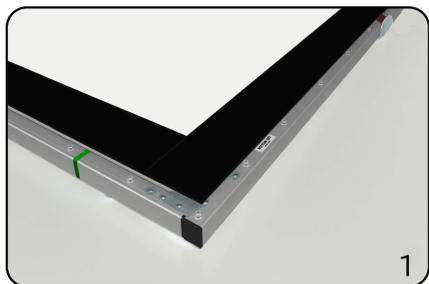
コーナー金具をまっすぐにしてロックします。



変形や破損などの恐れがあるため、フレームの各関節部及びコーナーは確実にロックするようお願いします。
関節部やコーナー金具をロックをする際には指をはさむなど、けがをしないよう注意してください。

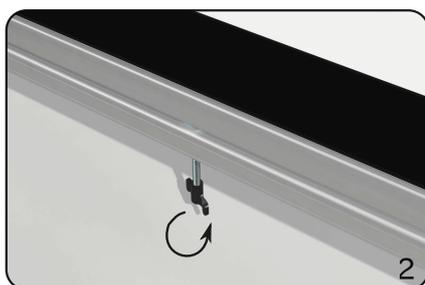
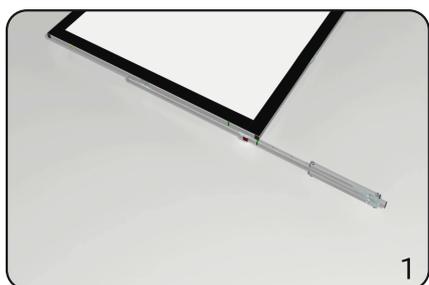
スクリーン組み立て方法 (MONOBLOX32)

(2) スクリーンの張り込み



- 組み立てたフレームの上にスクリーンを広げます。
- コーナーを起点として順を追ってスナップボタンを留めていきます。

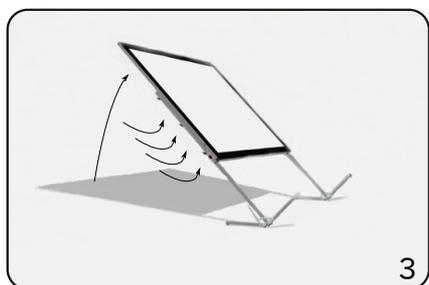
(3) スクリーンの設置



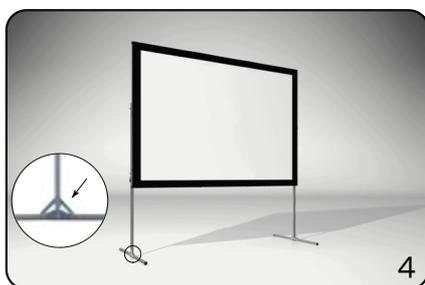
- 設置したい高さになるようスタンドをフレームに合わせます。
- フレームのナット位置に合わせて付属のM8×50mm蝶ボルトで固定します。
T-Legスタンド=4本
AT-Leg=6本



蝶ボルトは必要以上に締め付けないようお願いします。ネジ山がつぶれたりナットが空回りして外れなくなることがあります。



スクリーンを起こします。



スタンド支柱根元の金具をロックします。

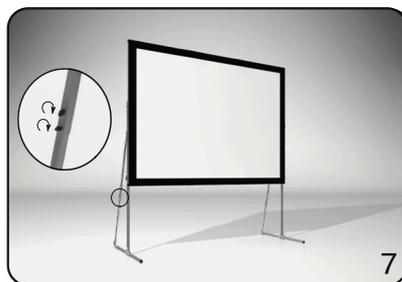
- T-Legスタンド使用の場合は3～4のようにスクリーンを起こします。
- AT-Legスタンド使用の場合は5～7のようにサポートバーを固定してください。



サポートバーを起こしノブネジをゆるめて伸ばします。



サポートバー先端を支柱のナット位置に合わせて付属の M8×50mm 蝶ボルトで固定します。



サポートバーのノブネジを時計回りに回して固定します。

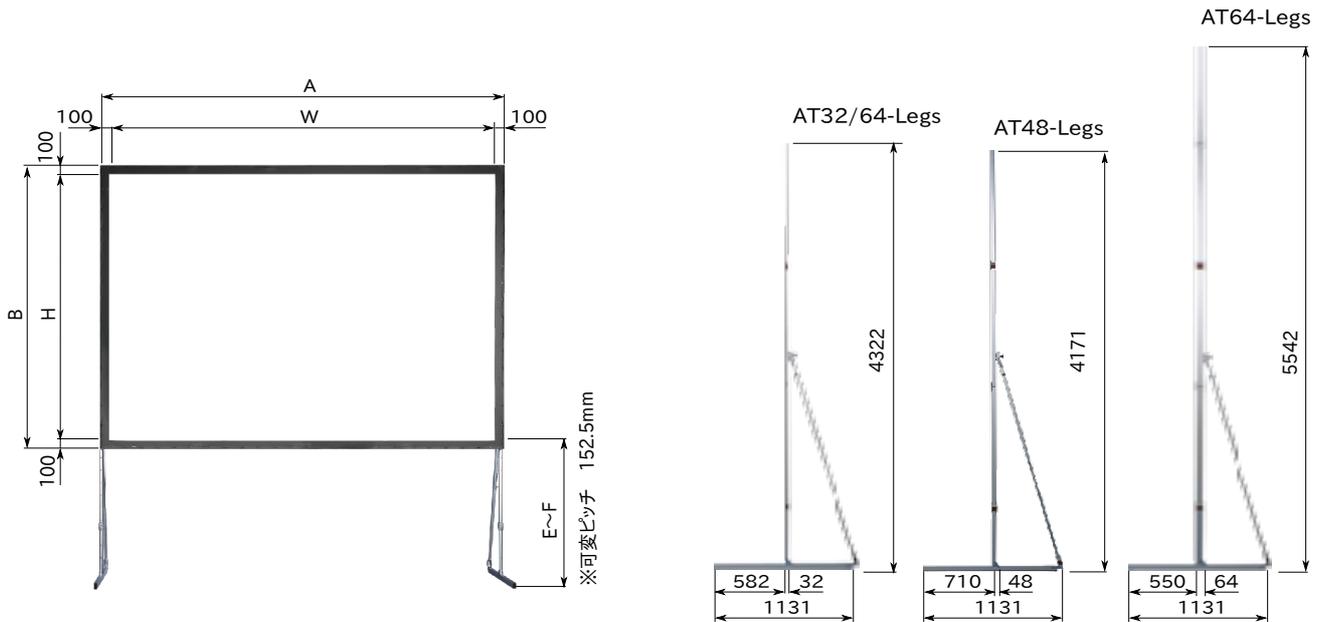


スタンド支柱根元は必ずロックしてください。
M8×50mm蝶ボルトは必要以上に締め付け過ぎないようにしてください。ネジ山がつぶれたりナットが空回りして外れなくなることがあります。



サポートバー伸縮部のノブネジは1～2回転でゆるみますので回し過ぎないように注意してください。
スクリーンを移動する際は必ず2人以上で慎重に行ってください。

スクリーン寸法図 (MONOBLOX64)



スクリーン規格一覧

NTSCサイズ(4:3)

型番	イメージサイズ (W) × (H)	外形寸法 (A) × (B)	付属 スタンド	スクリーン高さ		重量			付属 スタンド
				Min (E)	Max (F)	スクリーン フロント	スクリーン リア	フレーム	
MBLF-180	MBLR-180	3660 × 2740	AT32/64-Legs	187	1011※(1711)*(2625)**	4.8	5.2	16.4	11.7
MBLF-210	MBLR-210	4270 × 3200	AT32/64-Legs	187	1011※(1711)*(2625)**	5.2	6.9	18.2	11.7
MBLF-240	MBLR-240	4880 × 3660	AT32/64-Legs	187	1011※(1711)*(2625)**	6.5	8.6	22.0	11.7
MBLCF-300	MBLR-300	6100 × 4570	AT32/64-Legs	187	1011※(1406)*(1711)**	9.3	12.6	27.1	11.7
MBLF-360	MBLR-360	7320 × 5490	AT32/64-Legs	187	1011※(1101)*(1406)**	12.9	17.7	32.4	11.7

HDサイズ(16:9)

型番	イメージサイズ (W) × (H)	外形寸法 (A) × (B)	付属 スタンド	スクリーン高さ		重量			付属 スタンド
				Min (E)	Max (F)	スクリーン フロント	スクリーン リア	フレーム	
MBLF-165HD	MBLR-165HD	3660 × 2060	AT32/64-Legs	187	1101※(1863)*(2625)**	3.2	4.4	15.6	11.7
MBLF-193HD	MBLR-193HD	4270 × 2400	AT32/64-Legs	187	1101※(1863)*(2625)**	4.4	6.0	17.3	11.7
MBLF-220HD	MBLR-220HD	4880 × 2740	AT32/64-Legs	187	1101※(1711)*(2625)**	5.0	6.6	18.6	11.7
MBLF-275HD	MBLR-275HD	6100 × 3430	AT32/64-Legs	187	1101※(1711)*(2168)**	7.3	11.0	23.7	11.7
MBLF-330HD	MBLR-330HD	7320 × 4110	AT32/64-Legs	187	1101※(1711)*(1863)**	10.1	13.9	28.8	11.7

単位=mm/kg



注意

最高位置でスクリーンを設置する場合は安全のため、重りを置くなどして転倒防止の措置をとってください。
1mを超える設置高さにする場合はオプションスタンドAT48-LegsまたはAT64-Legsの使用をお勧めします。

付属品

フレーム縦横
ジョイント用



5本(予備1本含む)

スタンド
サポートバー固定用



M8×50mm
蝶ボルト
3本(予備1本含む)

吊り込み設置用



イーザーフライ64
クランプホルダー式
アイボルト 2~3個

AT32/64-Legs用



M8×50mm
蝶ボルト
6本

AT48-Legs用



M8×70mm
蝶ボルト
7本(予備1本含む)

AT64-Legs用



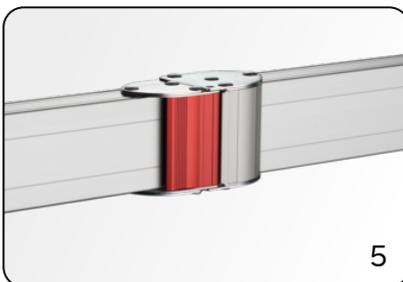
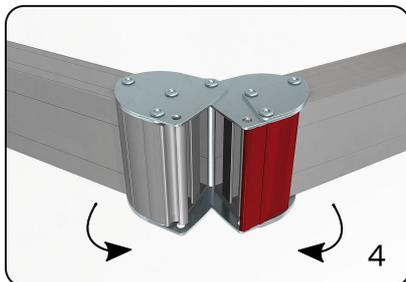
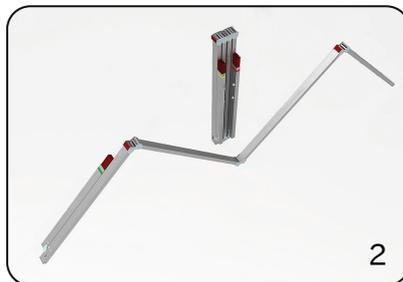
M8×85mm
蝶ボルト
9本(予備1本含む)

スクリーン組み立て方法 (MONOBLOX64)

(1) スクリーンフレームの組み立て

●折りたたまれているフレームを広げます。

(基本構成：トップバー/ボトムバー/バーチカルモジュール左右)



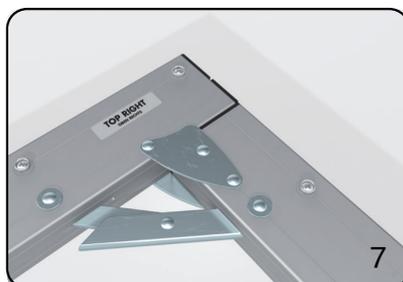
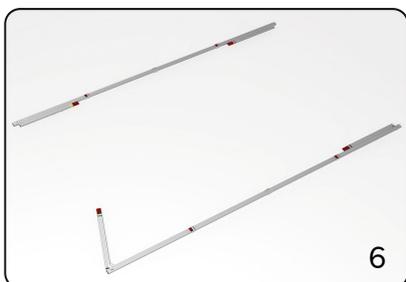
! フレーム関節部がロックしたことを必ず確認して下さい。

ロックが掛からない場合は「カチッ」と音が聞こえるまでロックボタンを押し込んでください。



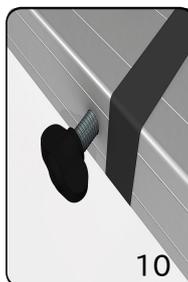
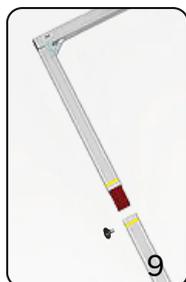
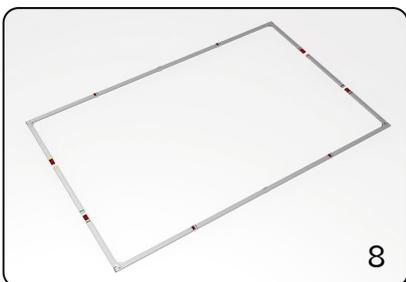
指挟み

けがの恐れがありますので関節部ををロックする時は、指をはさまないように注意して下さい。

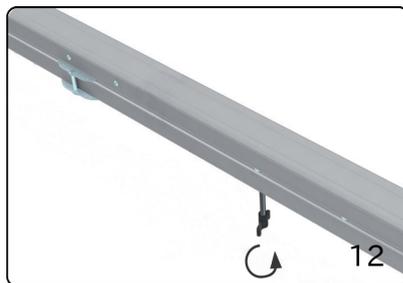
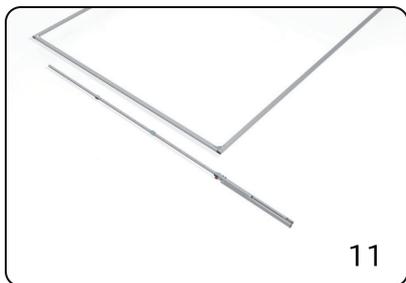


●トップバー、ボトムバーを広げます。

●コーナー金具を7の→方向に押しつけてロックします。



●トップバー、ボトムバーにバーチカルモジュールを差し込んでM8×15mm蝶ボルトで固定します。



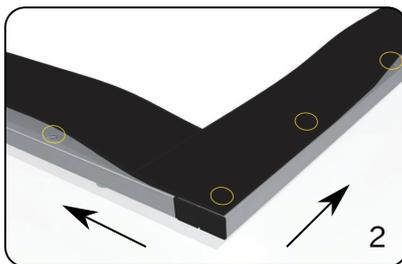
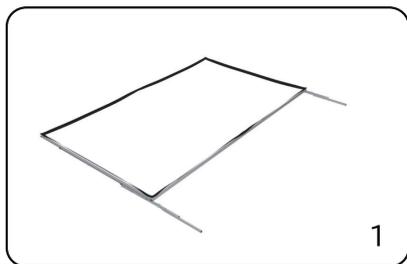
●自立設置の場合はスタンドを取り付けます。

●使用するスタンドに対応した付属の蝶ボルトで固定します。

●設置高さに合わせて取り付け位置を決めます。

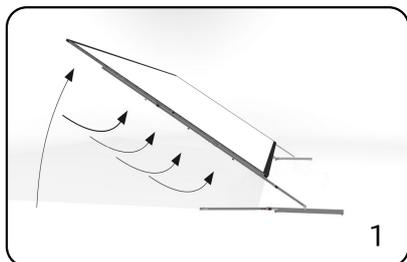
スクリーン組み立て方法 (MONOBLOX64)

(2) スクリーンの張り込み



- スクリーンをフレームの上に広げます。
- コーナーを起点に順を追ってスナップボタンを留めていきます。

(3) スクリーンの設置



スクリーンを起こします。

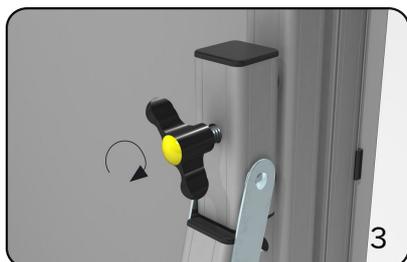


サポートバーを起こしノブネジをゆるめて伸ばします。

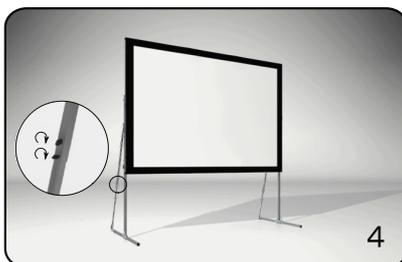
- 1~4の手順でスクリーンを起こして設置します。



勢いを付けて急激に起こすとスタンド支柱に負担が掛かり破損の恐れがありますので慎重に作業してください。



サポートバー先端を支柱のナット位置に合わせて付属の M8×50mm 蝶ボルトで固定します。



サポートバーのノブネジを時計回りに回して固定します。



必ず4名以上で作業してください。



注意

M8蝶ボルトは必要以上に締め付け過ぎないようにしてください。ネジ山がつぶれたりナットが空回りして外れなくなることがあります。



サポートバー伸縮部のノブネジは1~2回転でゆるみますので回し過ぎないように注意してください。

スクリーンを移動する際は必ず2人以上で慎重に行ってください。

- イーザーフライ64の取り付け。

吊り込み設置(バトン吊り等)する場合はワイヤーフックが掛けられるよう付属のイーザーフライ64(クランプホルダー式アイボルト)をフレームに装着してください。



アイボルトを締め付けてしっかり固定してください。
アイボルトがゆるんでいるとホルダーが外れて落下する恐れがあります

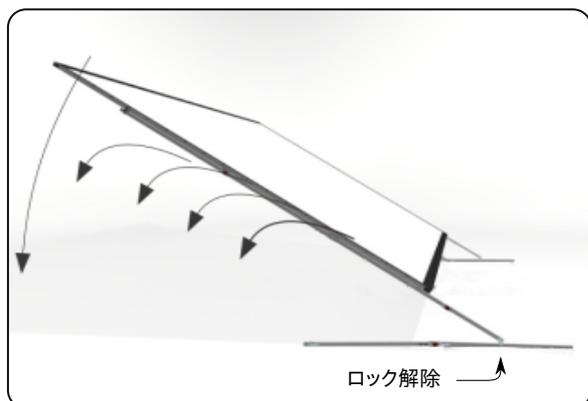


注意

ワイヤーは付属しておりませんので別途ご用意ください。
スクリーン重量に応じた適切なものを選んでください。

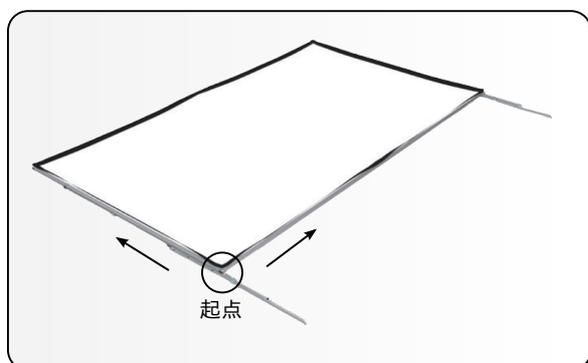
スクリーンの片付け方法

(1)スクリーンの取り外し



- スタンド支柱根元のロックを解除します。
- スタンドのサポートバーを外してスクリーンを静かに床に寝かせます。

! 必ず4名以上で作業してください。



- レームのコーナーを起点として順を追ってスナップボタン外していきます。

! 破れたり、裂けたりなど破損の恐れがありますので、スクリーンの取り外し作業は丁寧に行ってください。

(2)スクリーンの収納



- フレームから外したスクリーンは元のように折りたたんで専用の収納バックに入れてください。
- フレーム及びスタンドは元のように折りたたんでください。
- 付属品の蝶ボルトは専用のイエローポーチに入れてください。



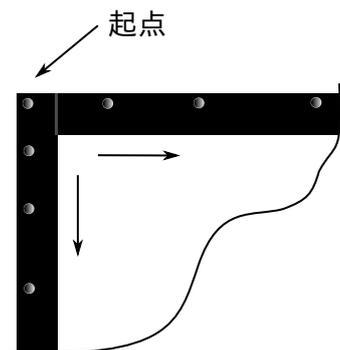
- 最後にフレーム、スタンドと付属品すべてを専用のハードケースに収納してください。

! ハードケースのベルトは確実にバックルを留めてきつく締めてください。バックルが外れていたり、ベルトがゆるんだまま持ち上げると落下し、破損したりケガをしたりする恐れがあります。

使用上のご注意

スクリーンはどなたにでも簡単に組み立てることが出来る方式ですが、お取り扱い方法によっては生地が裂けるなど破損のおそれがあります。破損してしまうと元のように修復するのは困難です。スクリーンを永くご使用して頂くために以下のことに十分注意して丁寧にお取り扱い頂きますようお願い致します。

- 最初に留めたスナップボタンを起点に順を追ってスクリーンを張ってください。



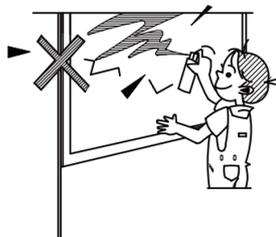
- 気温が低い時期はスクリーン生地が冷えて硬化するので暖房の効いた部屋などで温め、柔軟性を戻してから使用してください。



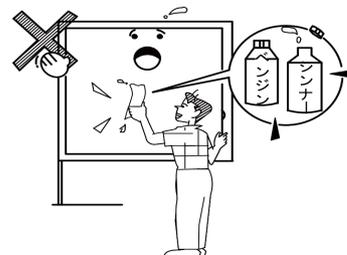
- スクリーン面に文字など書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



禁止



禁止



お手入れの仕方

- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。付着した汚れは洗剤で濡らしたスポンジで落とし、タオル地の柔らかい布で水拭き、乾拭きをしてください。



置き場所・保管についてのご注意

- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。



株式会社 キクチ科学研究所

本 社 〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-12-35
TEL.03-3952-5131(代) FAX.03-3953-0051

大阪営業所 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江 1-5-2
四ツ橋新興産ビル 10 階 100B
TEL.06-6567-9035(代) FAX.06-6567-9036
<http://www.kikuchi-screen.co.jp>

KIKUCHI SCIENCE LAB.MB 2023.05.EF